

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

## 今月の聖句

「神の国は何に似ているか。何にたとえようか。それはからし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと成長して木となり、その枝には鳥が巣を作る。」

ルカによる福音書13章18節—20節

## 主題

国際会長	Isaac Palathinkal	「言葉より行動を」「今すぐやろう！」
アジア地区会長	岡野 泰和	「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
東日本区理事	田中 博之	「誇りと喜びを持って」
あずさ部長	望月 勉	「スピードをもって前に進もう」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

### 五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

6月出席率82% 在籍者11名 出席者9名 メネット1名 メイキャップ0名 ゲスト4名

## 2014-2015年度スタートにあたって

2014-2015 会長 宮内 友弥

本年度2回目のクラブ会長を仰せつかりました。振り返ってみますと、前回は会長としての自覚も薄い中で先輩諸氏に支えられ、その年(2006年)の7月に東京武蔵野クラブと合併、9月には合併特別例会を開催し東京武蔵野多摩クラブとして新たなスタートを切った記念すべき年でした。

あれから8年、昨年5月にはクラブ30周年記念例会も無事に迎える事が出来ましたが、16名であったメンバーが11

名に減少しています。本年度の部報第1号の原稿で抱負欄に「Extension, extension & extension」としました。その為に行われる事は何でもトライしたいと思います。その手始めとして卓話者候補の拡充、ゲストを飽きさせない第1例会のあり方の検討やクラブホームページの立ち上げ、西東京センターに関わる方達への働きかけ等を推進したいと思います。

全ては魅力あるクラブ作りのため、自信を持って新入会員勧誘に励める体制作りのためにメンバー全員の皆様の叡智を集約して前進するのみです。微力な会長をお支え下さるよう宜しくお願いします。

## 6月武蔵野多摩クラブ例会のようす

日時 6月11日19時 場所 YMCA西東京センター

司会 宮内ウィズ 聖書・祈祷 山口ウィズ 受付 野尻ウィズ

ゲスト 太田 勝人 世田谷クラブ会長（次期東新部部长）

古市 慎さん 元YMCA職員・元サンライズクラブメンバー

ゲストスピーカー 青山 南海男 親子二代Y育ちの父

テーマ “東京 YMCA 少年部と私”

～「にんじんぐるーぷ」の軌跡～

今期最後の例会に全く相応しく、これまでとこれからを考えるヒントが山積みだった。

青山さんのスタートラインは '56 中学二年の夏「野尻短期キャンプ」参加に始まった。

早速、秋から少年部「にんじん」に参加しその交流は現在も続いている。

「昨年はリーダーの喜寿（77 歳）とメンバーの古希（70 歳）のお祝いをあわせて同時に行いました、リーダーメンバーは溶けて人と人！ 思い返せば楽しんでいただけのような気がします！」

「にんじんの由来はメンバーの一人がルナールの「にんじん」をほうふつとさせるそばかすいっぱいだったからです（私も最初買った岩波文庫がにんじんで星マーク一つが幾らとカウントすることを知り大人になった気がしたのを思い出した。）

「土曜日の午後になると神田美土代町の会館に行って泳ぐかバスケットをするかでした、国内初めての室内プール（20m）で全員ふるちんで泳いでいました、冬など風呂で暖まっては又ドボン！3時になるとあがって来て少年部へ。少年部のロビーは卓球台が二台あるなどとても広く小部屋が並び礼拝が終わると夫々のグループは小部屋に別れ夏は野尻キャンプ、春は観音崎へグループだけで行く計画や遊びの計画を立てたりしました。「全人のための小集団教育」にとっても恵まれていました」

高校二年には小学生夏季学校のアシスタントリーダー。大学でリーダー特に後半は肢体不自由児（現、手足の不自由な子供のキャンプ）プログラムリーダー。'80年代は上信越野外活動センター運営委員。'84 から「山中湖音楽村」（'13 第30回で終了）に参加。

「今こうしてみると YMCA にとって一番儲からない仕事をもっとも大切な仕事だったと思います」

氏の仕事の歩みは少年時代からの冒険心探究心が Y 生活そのものに寄ってはぐくまれてきたと納得。

創造力、空気を読む、イメージを現実に見えるものにする、見る人に想像力と夢見るチャンスを提供する仕事を、氏は日芸写真学科卒業後何の抵抗も無く、第一歩の広告カメラマンからプランニングディレクター、クリエイティブディレクターへ！

氏制作のDVD「にんじんぐるーぷ」奇跡を見た。先ず「うーん」唸ってしまったのは、見知らない人の記念写真の羅列ほどつまらないのではない事を、十分承知の編集は、そのシーン・シーンに誰もがその時代の気分にあふっとなってしまいうカモナマイハウス・カントリーロード・マイウエイ・ツーヤング・白銀は招くよ等々のジャズピアノに乗って観音崎・葉山・野尻湖でのキャンプ・教会やお寺での野宿キャンプのエピソードを、まるで昨日のよう生で語られてゆく。

驚いたことににんじんくらぶのリーダーは、なんと元多摩クラブ2代目会長の五十嵐 滋さんと発見！

野宿キャンプはアメ横で買って来たオーストラリア軍の中に血の痕のついた死体を運んだかも知れないでかいシュラフに二人もぐって寝たとか、会館少年部のロビーは出入り自由（上階はホテルのため）ごろ寝で朝を迎えさせてくれたおおらかな時代、自分たちで切磋琢磨して成長していく姿が手に取るようだ。

青山氏の口から「ばんけん」と言う言葉が繰り返された、初め何のこと分らなかったが斉藤 実さんのニックネームだった、この時代の若者たちの親しみと憧れの人だったことを発見！

Y大好き若者がリーダーに成長しても次の段階で何か違和感をもち大好きなYと一定の距離を保つようになった、それは現在まで続いている。氏は「なにか違うんだよ・・・」とあまりにYの存在と自分との距離が近かったため目がさ迷っている。

「DVDのエンディングを枯葉にしようかと思ったけれどツーヤングにしました」

私は、はっとした！東京青年：'03・4に2代目新館（東京青少年センター）の設計図を見せられたときには少年部は地下室の一隅に押しやられていた。「新館に表現しようとした新しいYMCA運動の理念を追求すべきだった・・・」と言う記事の話があった。

ここから守りの時代に入ったのだ！だからユニークだった教育も瞬く間に世間に追いつかれ埋没した、誰でも知っているはずのYMCAは今はあまり知られなくなってしまった。強いマネジメントを發揮しようにも身動き出来なくなっているのでは・・・

堅い守りの殻を脱皮するには。昔は良かったの夢から目覚めるには。Ysの役割は、私たちクラブは・・・・・・青山さんに言葉にならない言葉を投げかけられた。

### 31回会長就任を終えて

伊佐 節子

振り返って、1年間の時の過ぎる速さを思います。

何回か会長を経験しましたが、何回目の会長だったのか思い出せないなかで、今回は30周年の翌年と明確に記憶に残ると思います。

チャーターメンバーで31回まで過ごす事が出来ました。メンバー増強は難しく、クラブ運営は難しいものがありましたが、なんとか今日に至っています。

今期、若い渡邊大輔氏を迎えたことが我がクラブの最大の喜びでした。

ITに弱いメンバーは渡邊氏のご指導によってホームページを立ち上げるまでになりつつあります。

今年4月のIBCの香港クラブとの交流は開会式の模様を、同時に配信され、参加出来なかったメンバーも居ながらにして知ることが出来ました。

年取った頭にITの知識を取り入れ、素早い動きに感嘆しつつ、取り組んでいるうちに、自然とぼけ防止に役立っているのだ感じています。

何んにでも挑戦する「チャレンジ精神」を持ち続けることが若さを保つ秘訣なのかもしれません。

臆することなく、大胆に挑戦し続けましょう。

これから入会するであろう若いメンバーの活躍を期待して、共に頑張りましょう。

1年間支え、励ましてくださったメンバーの皆さんどうも有難うございました。

### <西東京YMCA便り>

村山 達哉

7月となり、夏のプログラムの準備も本格的に進んでまいりました。この夏も西東京センターでは多くのプログラムが実施されます。知的障がい児・者や発達障がい児のためのキャンプ、日帰りキャンプなど、概ね400人ほどの参加者、延べ180人のボランティアリーダーがYMCAに関わることとなります。

6月から7月の間は、夏のプログラム準備のために、ほぼ毎日のように西東京センターにはボランティアリーダーたちが集まり、それぞれのキャンプに向けたミーティングや、座学トレーニングが行われています。また、山中湖センター、野尻キャンプ、ぐんま YMCA 赤城キャンプを利用して、宿泊を伴った実技リーダートレーニングも行われました。ボランティアリーダーたちはこのトレーニングの中で、実際に仲間と生活をしながら、キャンプに必要な技術を習得していきます。ボートやカヌーの操船の仕方、野外調理のため薪を割って火をつける方法など、それぞれのキャンプ地で安全にプログラムを行うために、どのリーダーも真剣に学ぶ姿がありました。しかしトレーニングにおいて重要なのは、そういった技術を学ぶだけではなく、実際にキャンプで子どもたちと出会い共に過ごすことを想定し、子どもたちの豊かな成長のためには、リーダーとしてどのようなことが大切なのか、ということを一一人ひとりが考え、行動に移し、リーダーとして更なる成長をしていくことと考えています。

ひと夏を越えて、子どもたちは大きく変化をしていきますが、それと同じくらいリーダーたちも大きく変わっていきます。この夏、子どもたちのきらきらした笑顔に出会えることと同時に、夏を終えてひとつ成長した若者たちの姿に出会えることを楽しみに、プログラムに向けてよりいっそう励んでまいります。

#### <西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 7/1 西東京センター座学リーダートレーニング (キャンプの安全)
- 7/6 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」7月例会  
知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」7月例会
- 7/12 道志グリーンキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)  
ワイルドフラワーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)  
山中ビレッジトーテムキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)  
野尻ユースキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/13 軽度発達障がい児 野外活動「Smile」7月例会  
幼児野外活動「にこにこ」7月例会  
小学生野外活動「ロビンソン」7月例会
- 7/19-21 わんぱくキッズ (引率：中元)
- 7/20 妙高やまのこキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)  
あおぞら・つばさキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)  
シャベルズ・かめの子キャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/25-27 山中ビレッジトーテムキャンプ(引率：村山、篠寄)
- 7/27 戸隠ネイチャーアドベンチャーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/29-8/4 野尻ユースキャンプ (引率：鳩山)

今月のハッピーバースデー 石丸ワイズ 7.1 笠利メネット 7.11 松田ワイズ 7.24 メネット 7.15 太田メネット 7.19  
竹中メネット 7.30

7月の例会 新会長就任式、新会長新年度の指針表明、メンバー全員新年度への想いと取り組み計画発表  
受付 渡邊・松田ワイズ 司会 山口ワイズ 聖書・祈祷 伊佐ワイズ 就任式式辞 清水ワイズ

お願い 東京武蔵野多摩クラブの年会費は、銀行振り込みでも結構です。よろしく願いいたします。

振込先は 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店 普通 3532492 東京多摩クラブ エドワート基金 会計 太田 太です。